

ニンニク病害虫

特別対策プロジェクトチーム 活動開始

野菜研究所

本県のニンニクは全国第1位の生産を誇っていますが、近年、りん片に腐敗をおこすイモグサレセンチュウやウイルスを媒介するチューリップサビダニ等の発生が問題となっています。

これらの問題に対して迅速に対応するために野菜研究所と農林総合研究所の関係部署によりプロジェクトチームが設置されましたので、取組み状況をご紹介します。

ニンニクの病害虫

イモグサレセンチュウ



成虫の体長は1.3mm程度で、細長い流線形をしています。土壌中に生息しています。

ニンニクへの被害



- ◆ニンニクの収穫期前後から、りん片に侵入・増殖します。
- ◆その加害により品質が低下し、腐敗し大きな被害がでます。

チューリップサビダニ



体長は0.25mm前後で、ウジ虫形をしています。生態に関しては不明な点が多いです。

ニンニクへの被害



- ◆ダニが寄生・吸汁し、りん片表面が毛羽立った外観となります。
- ◆貯蔵中のりん片表面が淡黄色に変色します。

チームの活動状況

相互の試験状況確認

4/6に両研究所研究員により意見交換を行い、研究の効率化について検討しました。

原種圃のウイルス検査

4/26・27にニンニクの原種圃でウイルスの検査を行い、優良種苗の供給に備えました。

イモグサレセンチュウ研究連携会議の開催

5/23に国内の第一線でイモグサレセンチュウに取り組んでいる研究者を集め、研究状況や防除技術について検討を行いました。



相互の試験状況の確認



原種圃のウイルス検査

今後の活動予定

9月に第2回目の研究連絡会議を開催するとともに、試験成績等の共同検討・研修会等を行う予定です。

お問い合わせ

野菜研究所 病虫部 (Tel0176-53-7171)



編集・発行

地方独立行政法人 青森県産業技術センター

〒036-0522 青森県黒石市田中82-9 TEL 0172-52-4346 FAX 0172-52-4399

ホームページ <http://www.aomori-itc.or.jp/>